

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	加古川市立 陵北小学校 職・氏名 教諭 川元 佳子	研究チーム名 (児童・生徒・教師関係研究)
-----------------	------------------------------	----------------------------

研究テーマ分類番号 (18)

(1)研究テーマ
学級経営支援プログラムを使った教師と児童・生徒関係の分析
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>学級の荒れは、学力向上や学習意欲の妨げになるだけではなく、不登校・いじめ・暴力行為などの原因になると考えられる。そこで、教職員研究チームでは平成20年度に教師用 RCRT を使った学級経営を見直すための学級経営支援プログラムを開発した。平成21年度はプログラムを実施し、その効果を検証した。平成22年度は今までに参加した学級のデータから、学級状態が教師・児童・生徒関係にどのような影響を与えるかを兵庫教育大学大学院学校教育学研究科准教授の指導を受け、分析をしている。</p> <p>5月 第1回研修会（年間計画の検討）神戸：兵庫教育大学神戸サテライト 7月 第2回研修会 大阪：キャンパスイノベーションセンター 8月 第3回研修会 神戸：兵庫教育大学神戸サテライト （講師） 兵庫教育大学大学院学校教育学研究科准教授 （講演内容）教師用 RCRT 心理検査のデータの分析の方法等について 日本教育心理学会（早稲田大学）参加 9月 第4回研修会 加東市：兵庫教育大学 日本心理学会（大阪大学）参加</p> <p>現在までの分析では、若手教員の教師用 RCRT 結果と学級崩壊後の回復時におけるベテラン担任の教師用 RCRT に共通したところが多いことがわかってきた。これは、若手教員において経験が浅く本音と建前の違いがなく子どもたちに対応している状況と、崩壊状況の際に学級の立て直しという目標のため本音・建前の違いを無くしたベテラン教員の状況が一致しているためではないかと考える。また、崩壊が進行している過程では、教師用 RCRT の結果に本音・建前の違いが大きく担任自身もそのため心理的に大きな負担になっていることがわかってきた。</p> <p>今後も分析を続け、学級経営に生かせることのできるようデータ結果をまとめていきたいと考えている。</p>